

医師会が行う 都市型拠点事業

板橋区医師会

連携拠点事業担当 佐藤 恵

東京都の地域特性

- 東京では今後、急速に高齢化がすすむ、特に後期高齢者が増加する
- 後期高齢者には独居・高齢世帯・女性・ADL低下・認知症・低所得などの特性がある
- 後期高齢者では介護保険の利用も急増し、後期高齢者の特性を踏まえた医療と介護の提供が重要である
- 団地など地域によってはこれらの課題は、すでに緊急の課題である
- 地域のつながりが希薄である

東京都の在宅療養環境

- 東京では急性期も慢性期も病床数は不足している（一方で内科・歯科の診療所数は多い）
- 介護保険の入所施設も圧倒的に不足しており、今後もこの状態は継続する見込みである
- 入院・入所での医療・介護を必要とする多くの高齢者（後期高齢者）が在宅に留まらざるを得ない
- 現在、8割の人は病院で死亡されているが、在宅や老健などでの死亡が増え始めている
- 東京都は在宅療養支援診療所も訪問看護ステーションも機能し、在宅死も多い

板橋区



板橋区(人口:53万人)

高島平地区(人口:6.4万人)

- ・ 40年前に巨大団地完成(17000人居住)
- ・ 当時の入居者は現在70歳前後(高齢化35%)
- ・ 4、5年後は、ほとんどが後期高齢者となる
- ・ 団地住民の88%が独居・老々世帯
- ・ 団地へ若い世帯や店舗が入りにくい(安くない家賃)
- ・ 板橋区:22年度の介護保険申請 22,077件
認知症自立度 I 以上67.1% II 以上48.1%
- ・ ピンピンコロリは7人に1人(全国平均から)

ケアの需要爆発がすぐにやってくる！

医師会型拠点事業

メリット

- 多施設に公平性を担保
- 医師会事業を活用できる
- 会員医師の協力が望める
- 区内病院の協力が望める
- 大規模公開講座が容易
- 行政との連携(医療・保健)

デメリット

- 独走になりやすい
- 多職種が発言しにくい
- 「やらされている」感情
- 介護資源との連携が遅い
- 行政が消極的になる

板橋区医師会の在宅関連事業

- ・ 高島平地区に医師会立病院、訪問看護ST、包括支援センター、介護支援事業所を有する
- ・ 疾患別連携構築(がん・脳卒中・糖尿病・認知症・・・)
- ・ 私の健康管理手帳の制作と活用
- ・ 在宅緊急一時入院病床確保事業(医師会病院)
- ・ 退院前カンファレンスの推奨・モデルシート作成
- ・ 板橋区在宅医療連携マップ作成
- ・ 板橋区医師会在宅医会設立
- ・ 療養ネットワーク懇話会定期開催
- ・ 在宅医療連携拠点事業受託

板橋区医師会連携拠点事業

1. 在宅療養ネットワーク懇話会事業
2. 区民公開講座
3. 療養相談室

1 在宅療養ネットワーク懇話会事業

- 輪番制多職種主動型懇話会(板橋区全域)
10職種から世話人が参加・独自性尊重・容易な課題抽出
退院前カンファレンスの推奨
- ミニネット懇話会(高島平地区)
高島平地区のケアマネジャー同士の交流
- キュア・ケアミーティング(高島平地区)
地区内多職種・民生委員・住民による協学
- 在宅療養資源MAPの充実(板橋区全域)
介護施設の機能リストも追加

在宅療養ネットワーク懇話会

多職種の世話人で構成

2010年3月より 4ヶ月おきに懇話会を開催

10職種以上が参加し、話し合う

各職種が当番で独自の懇話会を企画、開催する

- 2年半をかけて**世話人全職種**が**各職種独自の**在宅療養ネットワーク懇話会を主催してきました

- - ・ 第1・2回 板橋区医師会
 - ・ 第3回 板橋区歯科医師会
 - ・ 第4回 区内訪問看護ステーション
 - ・ 第5回 板橋区薬剤師会
 - ・ 第6回 板橋区・介護職・区内介護施設・包括センター
 - ・ 第7回 区内病院連携室

主たる
目標は

▶ **顔が見える多職種の連携を作ること**



多職種参加

グループ毎の発表



口腔ケアの体験実習



多職種からの課題

- 在宅療養ネットワークの周知が介護職でありあまり進んでいない
- 退院前カンファレンスの実施
- 予後予測説明と事前指示の実施
- 地域連携拠点の必要性
- 地域力（近所付き合い）
- 療養施設の情報
- 介護力・経済力への支援
- エンドオブライフに対する区民意識

退院前カンファレンス デモンストレーション



キュア・ケアミーティング

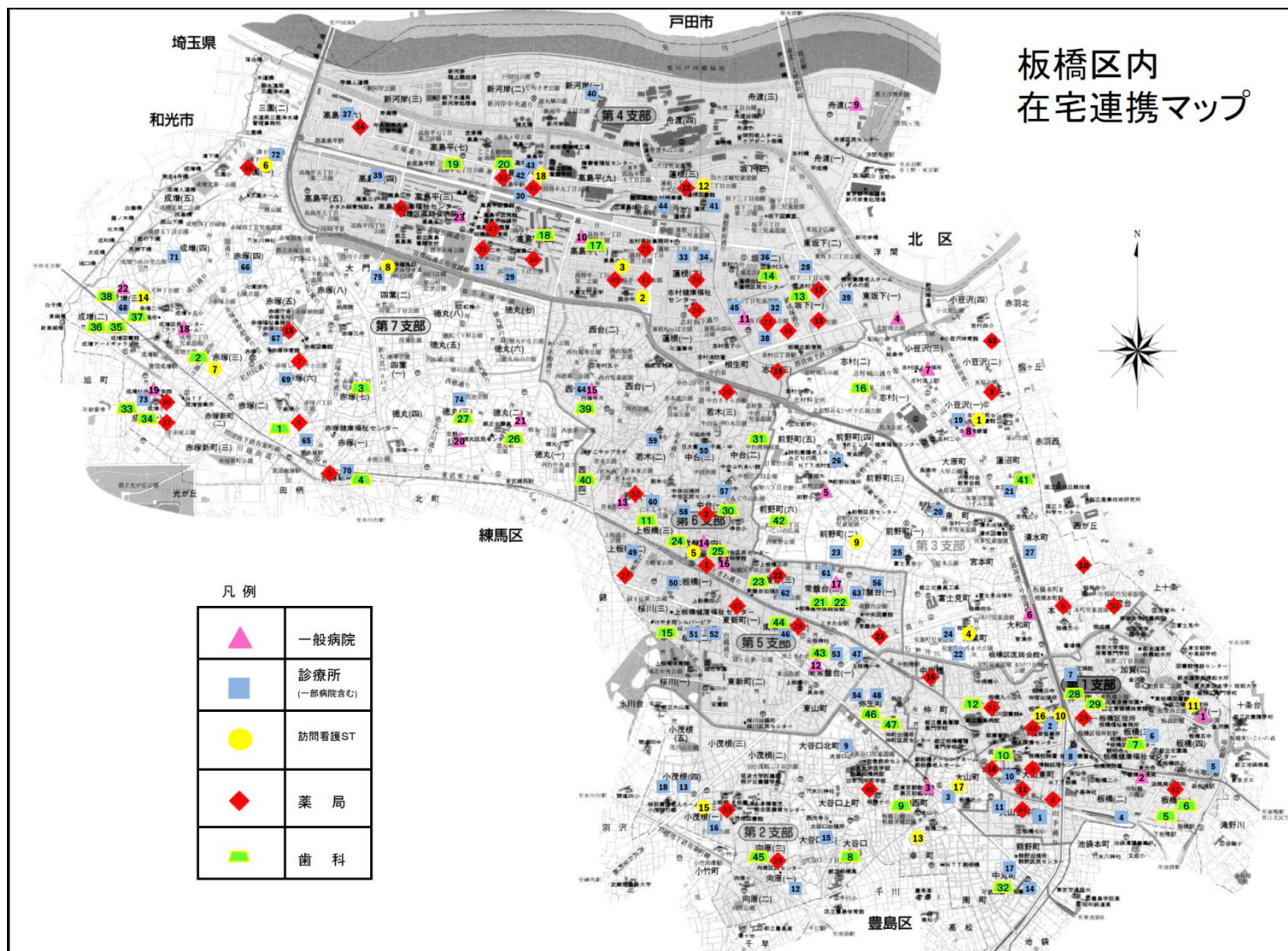
【参加職種】

医師 看護師
 薬剤師 ケアマネジャー
 社会福祉士 介護福祉士
 施設長 ボランティア
 民生委員、他



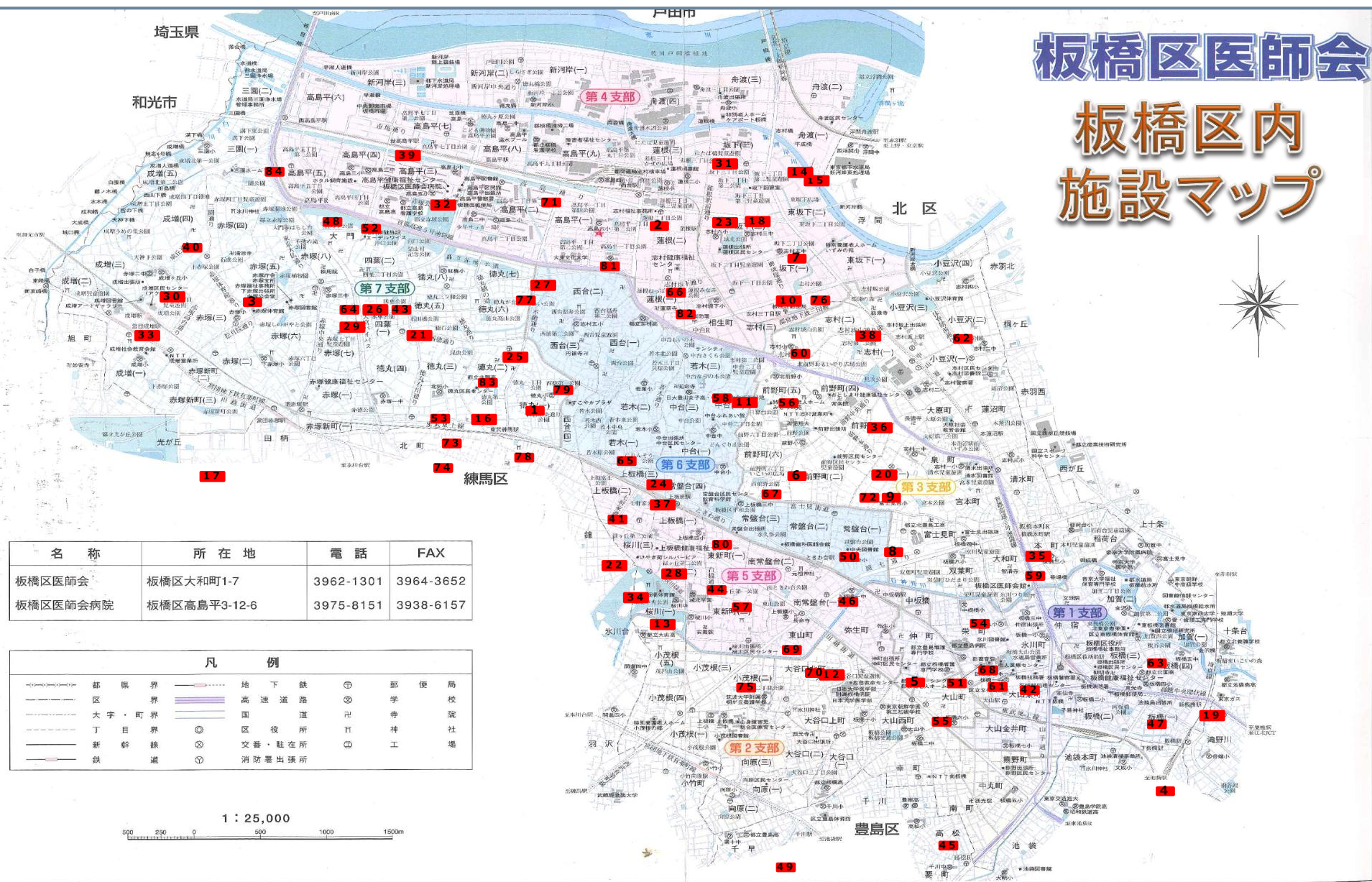
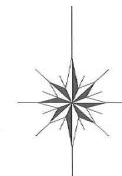
	テーマ	講師
10/ 19	「災害支援について 皆で考えよう」 (参加:51人)	・音羽台レジデンス 副施設長 田辺薫
11/ 22	「高島平の歴史を 知る」 (参加:44人)	・高島平2丁目団地自治会 事務局長 林 貢 ・高島平介護センター団地中 央店 所長 小澤徹
12/ 15	「施設の看取り」 (参加:34人)	・佐藤クリニック 院長 佐藤恵 ・マイライフ徳丸 施設長 高麗正道ほか
1/ 16	「認知症の理解とケ ア」 (参加:49人)	・水野医院 院長 水野重樹 ・地域包括支援センター センター長 豊嶋ひとみ
2/ 15	「在宅における薬剤 管理」	・ケイロン薬局 薬剤師 安部好弘
3/ 15	「腎疾患」(仮)	・西台診療所 院長 山口善弘

東京都板橋区・在宅医療連携マップ



板橋区医師会

板橋区内 施設マップ



名称	所在地	電話	FAX
板橋区医師会	板橋区大和町1-7	3962-1301	3964-3652
板橋区医師会病院	板橋区高島平3-12-6	3975-8151	3938-6157

凡 例			
都 県 界	地下鉄	郵便局	
区 界	高速道路	学 校	
大字・町界	国道	寺 院	
丁目界	区役所	社 会 館	
新幹線	交番・駐在所	工 場	
鉄 道	消防署出張所		

1 : 25,000

500 250 0 500 1000 1500m

区内一般病院情報(機能リスト項目)

基礎情報	医療機関名、電話番号
医療連携担当者の有無	「いる」・「いない」
急性期病院よりのリハビリまたは療養調整目的の患者受け入れ	「可能」・「相談のうえ検討」・「不可能」
慢性疾患患者の急性増悪時の受入	「可能」・「相談のうえ検討」・「不可能」
がん末期患者の一時的受入	「可能」・「相談のうえ検討」・「不可能」
緩和ケア	「している」・「していない」
がん化学療法の病病連携	「可能」・「相談のうえ検討」・「不可能」
身体症状中心の認知症患者受入	「可能」・「相談のうえ検討」・「不可能」
連携している介護施設	「ある」・「ない」

在宅医情報(機能リスト項目)

基礎情報	医療機関名、医師名、住所、電話番号、FAX	
対応可能な薬品	・オピオイド、オピオイドンの持続皮下注射 ・ワーファリン、インスリン、エリスロポエチン ・抗がん剤、サンドスタチン皮下注射	
対応可能な処置	・膀胱留置カテーテル管理 ・腎盂留置カテーテル管理 ・自己導尿管理 ・人工肛門管理 ・CAPD、APD管理 ・気管切開、気管カニューレ交換 ・人工呼吸器管理 ・BiPAP・CPAP管理 ・酸素療法 ・経鼻栄養・カテーテル交換 ・胃瘻管理・胃瘻交換	・末梢点滴 ・中心静脈栄養管理 ・輸液ポンプ ・輸血 ・褥瘡、外科的デブリ ・腹腔穿刺・腹水除去 ・腹部ドレーン管理 ・PTCD管理 ・呼吸リハビリ、 ・SpO2測定
看取り	・24時間連絡および訪問可能か ・医師一人に対応可、数人に対応可 ・主治医、副主治医制の有無	

訪問看護ステーション(機能リスト項目)

基礎情報	・名称、住所、電話、FAX、メールアドレス、管理者名			
人員	・常勤、非常勤 ・人数	・看護師 ・助産師 ・保健師	・准看護師	・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士
訪問エリア	・通常の訪問地域 ・訪問が困難な地域 ・利用者により訪問している地域			
加算や体制に関する届け出等	【医療保険】:24時間対応体制加算又は24時間連絡体制加算、 特別管理加算、ターミナルケア療養費加算 褥瘡専門看護、がん専門看護、精神科訪問看護 【介護保険】:緊急訪問看護加算、特別管理体制、ターミナルケア加算 サービス提供体制加算 【その他】生活保護、自立支援医療、労災、公害など			
対応が可能か否か	・経鼻栄養・胃瘻・腸瘻管理 ・中心静脈栄養の管理 ・ストーマ・ウロストミー管理 ・膀胱留置カテーテル管理 ・ドレナージ・チューブ管理 ・精神疾患、小児、認知症、HIV	・点滴管理 ・褥瘡管理 ・オピオイド管理 ・気管切開管理 ・気管カニューレ	・人工呼吸器管理 ・BiPAP・CPAP管理 ・在宅酸素療法管理 ・吸引 ・CAPD・APD管理	
その他	・喀痰吸引等に関する指導看護師の有無			

薬局情報(機能リスト項目)

基礎情報	薬局名、管理薬剤師名、住所、電話番号
届け出状況	・在宅管理指導 ・居宅療養管理指導(みなし指定) ・生活保護法による居宅療養管理指導 ・生活保護法による介護予防居宅管理指導
基準等	・麻薬小売業の許可の有無 ・無菌製剤処置の施設基準 ・高度管理医療機器等の販売業許可証
訪問管理指導の対応時間	・営業時間内 ・相談に応じ、営業時間外も可能 ・日、祝日の対応可
退院時カンファレンス参加の可否	「可能」 ・ 「相談により対応」 ・ 「不可能」
訪問可能な範囲	
注射剤の供給(無菌製剤以外)	「可能」 ・ 「相談により対応」 ・ 「不可能」
医療機器・衛生材料の供給	「可能」 ・ 「相談により対応」 ・ 「不可能」

歯科医情報(機能リスト項目)

基礎情報		医療機関名、住所、電話、FAX
訪問医療		・一般歯科診療 ・口腔ケア ・摂食機能障害への対応
診療所での対応	車いす利用者への対応	・バリアフリー施設 ・一部補助を必要とするが対応可
	聴覚障害者への対応	・手話対応可 ・筆談等による対応
	視覚障害者への対応	・診療スタッフのよる介助対応
	身体障害者への歯科治療	・一般歯科治療 ・口腔ケア(歯磨き指導)
	発達障害者の歯科治療	・一般歯科治療 ・口腔ケア(歯磨き指導) ・予防重視で定期的に診る

医療依存度の高い利用者の受け入れ施設

特養、老健、グループホーム、有料ホーム、ショートステイ、通所サービス

基礎情報	施設名、施設長名、相談担当者、住所、電話、FAX 定員、その他の併設サービス	
郭サービスの詳細	・送迎サービスの詳細 ・洗濯代行サービス(入所のみ) ・外部サービス利用(訪問診察、訪問看護)	
医療依存度の高い 利用者の受け入れ	・尿留置カテーテル ・インスリン注射 ・酸素療法 ・吸引 ・胃瘻、腸瘻栄養 ・経鼻栄養 ・固形化栄養対応 ・褥瘡 ・ストーマ ・気管切開 ・中心静脈栄養	・CVポート」 ・点滴 ・膀胱瘻 ・腎瘻カテーテル ・オピオイド管理 ・人工呼吸器 ・緩和ケア ・看取り ・ALS患者受け入れ ・その他の進行性難病患者受け入れ

2 区民公開講座

- 板橋区医師会医学会 : 災害と医療
- 寸劇「退院前カンファレンス」
- 区民アンケートの実施と考察

平成24年9月30日

第17回板橋区医師会医学会 シンポジウム [災害と医療]

東日本大震災に学ぶ
くすりの自主管理

平成24年9月30日



シンポジウム「災害と医療」 午前の部
災害時の医療ネットワーク

座長 東京都医師会防災担当理事 猪口正孝
板橋区医師会会長 天木 隆



災害区民公開講座区民アンケート

- 行政へのあきらめ
- 自助・共助への期待
- 情報開示の強い希望

区民公開講座

平成25年2月9日(土)
午後2時～4時

寸劇:退院前カンファレンス

今回の狙い

- ・療養情報の提供
- ・エンドオブライフの啓発
- ・地域力(自助・共助)の強化

板橋区医師会・在宅療養ネットワーク懇話会

区民公開講座

参加費
無料
申込制
250人

日時 平成25年2月9日(土) 午後2:00～4:00

会場 板橋区立文化会館 [小ホール2階]

板橋区大山東町51-1

東武東上線「大山」下車3分、都営三田線「板橋区役所前」下車7分

対象 一般区民、医療・介護従事者

参加費 無料(先着250名)



住み慣れた地域で!

最期まで安心な療養生活続けるために!
みなさんを支える仲間が集います!

「高齢になっても住み慣れた地域で
顔見知りの人たちとすごしていきたい!」
そうお考えの方はたくさんいらっしゃると思います。
板橋区はそれを支える仲間や施設が豊富な地域です。
当日は、みなさんを支える仲間たちをご紹介します。
最期まで安心して暮らし続けられるための情報をお伝えます。
どうぞ奮ってご参加ください。

プログラム

司会 板橋区医師会 在宅部理事 岩田 光正

挨拶 (14:00～14:05)

板橋区医師会 会長 天木 聡

第一部 (14:05～14:20)

◎在宅医療連携拠点センター事業について
板橋区医師会在宅医療センター在宅看護部長 井上 多鶴子

第二部 (14:20～15:05)

◎寸劇「退院前カンファレンス」

退院後の療養を支えるための準備とは!

在宅療養ネットワーク懇話会(区内多職種参加)

第三部 (15:15～15:45)

◎講演「摂食支援について(仮題)」

渋谷歯科医院 渋谷 英介先生

総括

閉会 板橋区医師会 副会長 長澤 義久

主催 社団法人板橋区医師会
在宅療養ネットワーク懇話会

後援 板橋区

助成 在宅医療連携拠点事業

URL <http://www.itb.tokyo.med.or.jp>

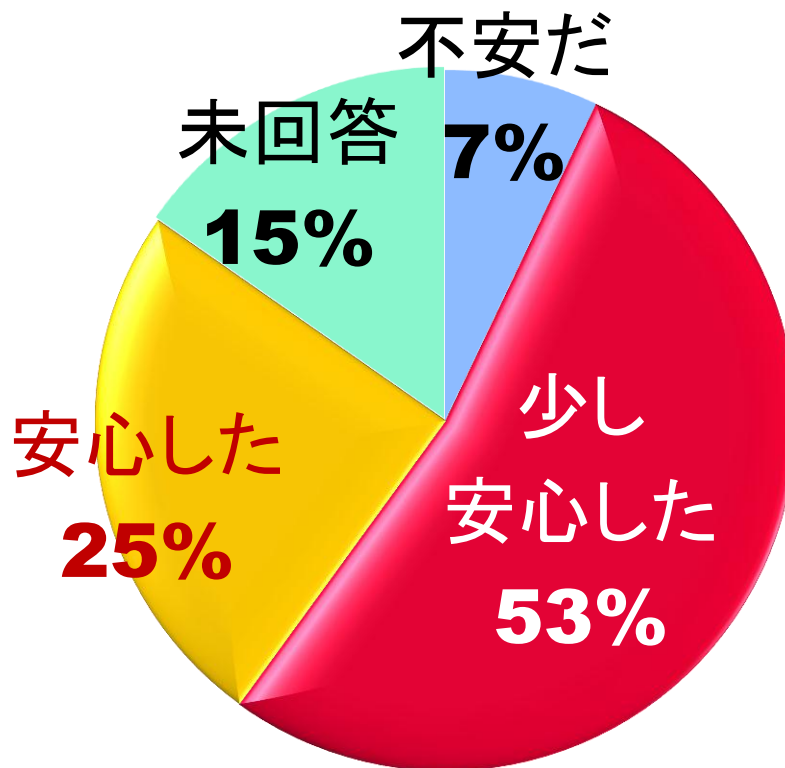
板橋区医師会

お申込みは裏面をご覧ください。

区民公開講座後実施した区民アンケート結果 (抜粋)

設問 1

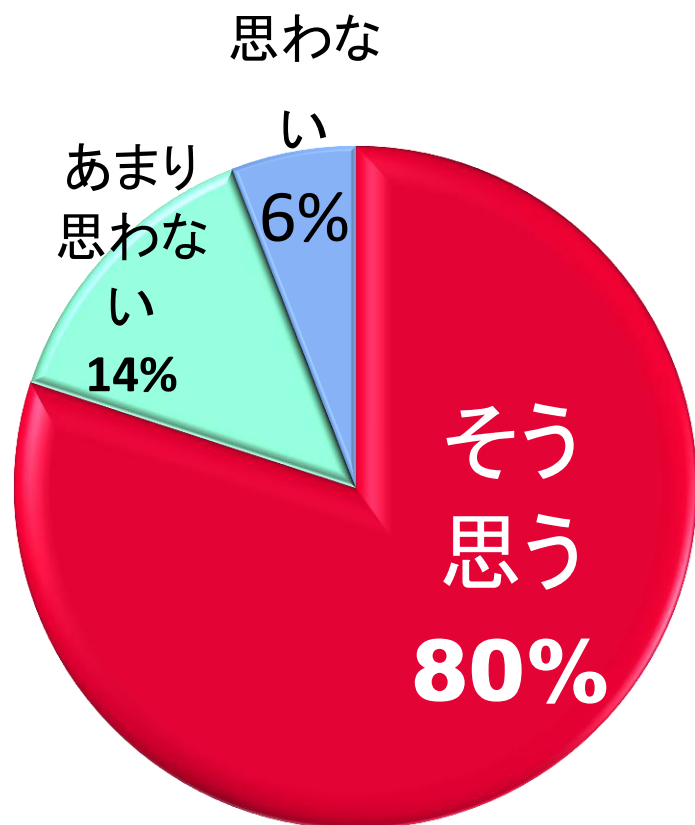
公開講座をお聞きになって
将来への不安に変化はありましたか？



不安の内訳
高齢化
経済的な問題
家族への負担
独居

設問 2

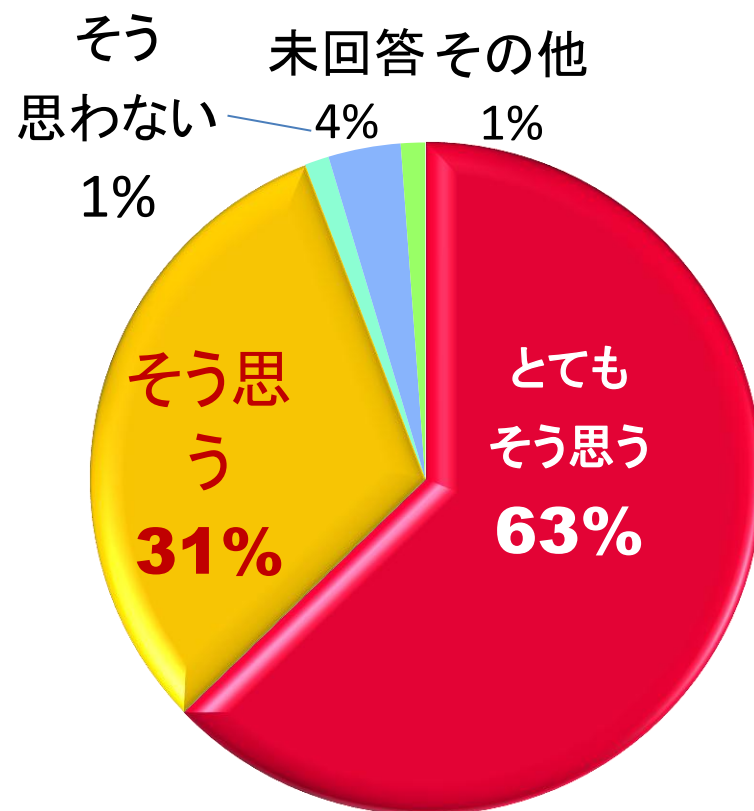
近所付き合いを活発にすることが
安心につながりますか？



地域ネットワーク
の必要性！

設問 3

ご自身が療養場所を選択
できる地域が理想ですか？

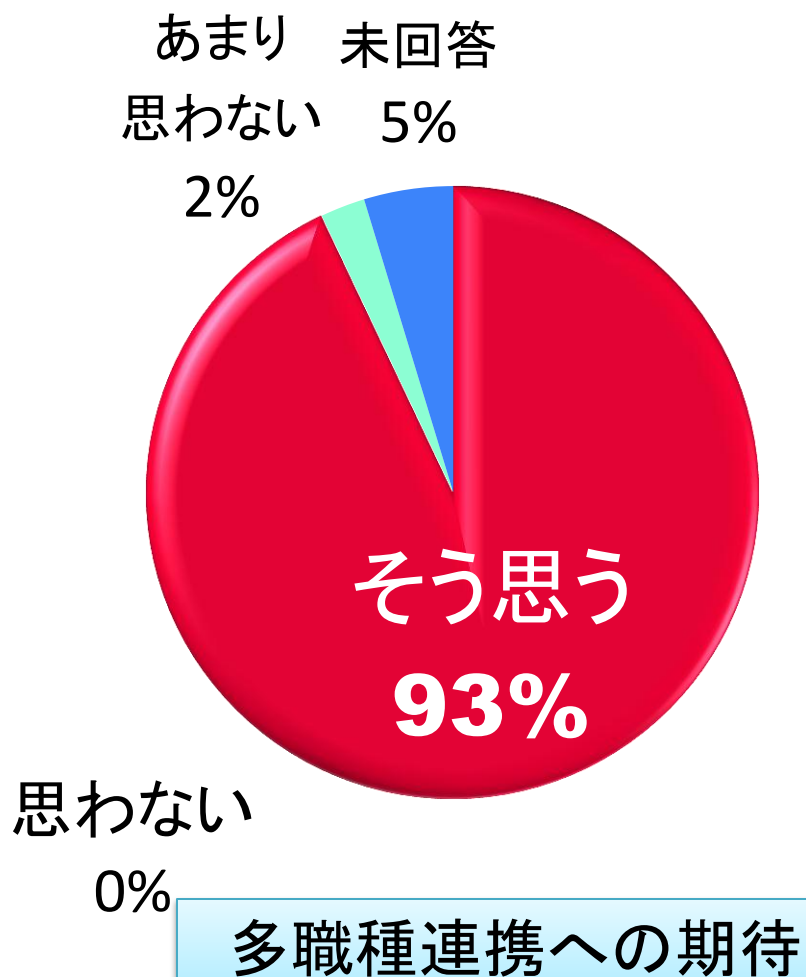


無理だ
0%

消去法による選択は
望んでいない！

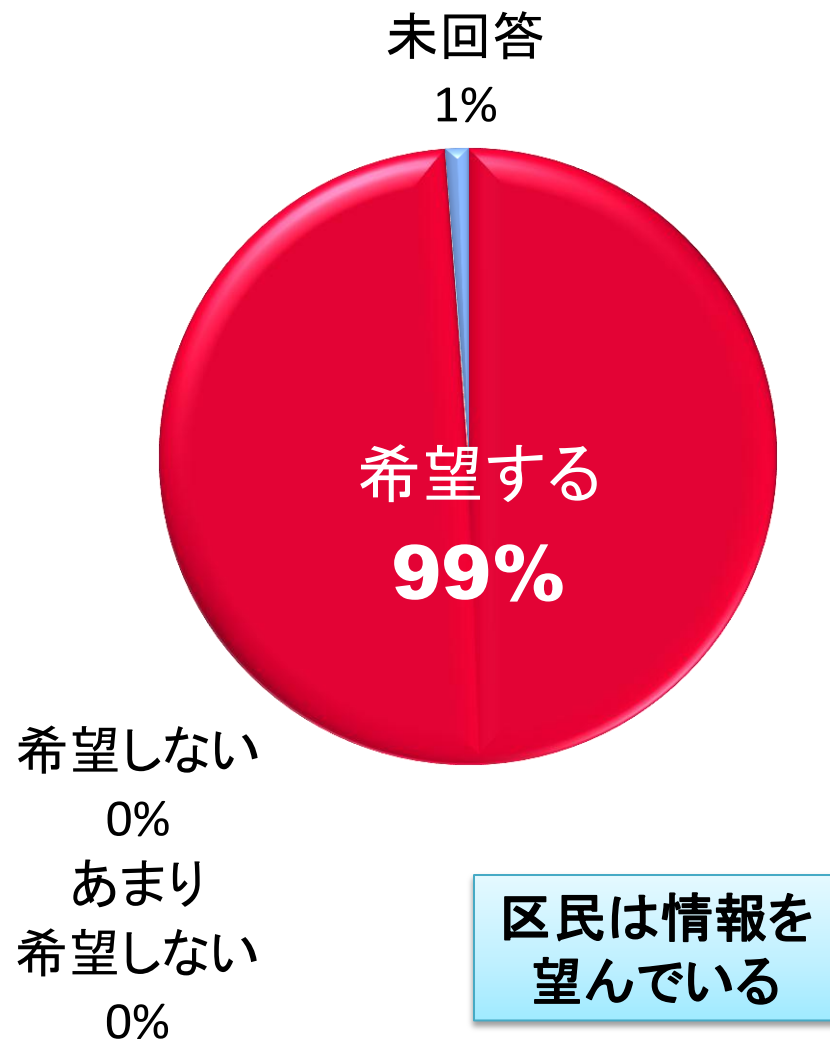
設問4

多職種と事前に話あっておくことは安心につながりますか？



設問5

今後このような公開講座の開催を希望されますか？



3 療養相談室(高島平地区)

- 区民支援： 相談開始
- 多職種情報収集：
地域内在宅医、訪問看護ST、介護サービスの受け入れ状況
- 退院支援(スクリーニングシート)・入院支援
- 施設情報： 機能リスト付きMAP作成
- 災害MAP： 区とハイリスク療養者MAP調整中
- 災害対策： 支援調整 衛星電話 発電機 吸引器
- HP公開 (医療連携MAP・施設MAP公開)

入院日 年 月 日

①入院1日～2日目

「スクリーニングシートⅠ」

一項目でもチェックがあれば
シートⅡへ

入檔口 年 月 日

入檔口 年 月 日

6200

記號者

主理區

陳樹明 啟

성명	이정호
----	-----

生年 月 日

40

*スクリーニングシート1は、通院調整が必要の方に支援するためのものです。
*上記項目に一つでも該当する方は、スクリーニングシート1にチェックを付けてください。

退 月

②入院1週～2週目

「スクリーニングシートⅡ」

一項目でもチェックが入れば、支援対象者
療養相談室が退院調整サポート



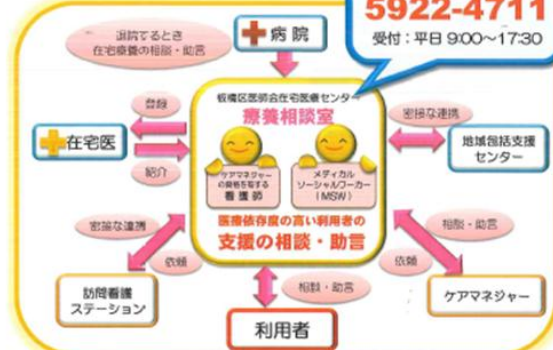
療養相談室

在宅医療連携拠点事業で設置された療養相談室は、在宅医療を提供する機関等の連携、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す。

ご相談
お待ちしております

TEL03-5922-4711

受付：平日 9:00~17:30



こんな時にご相談ください

- 医療依存度の高い利用者のケアマネジメントについて相談したい。
- 療養困難が予測される患者の退院支援に困っている。
- 訪問医を探している。往診可能な専門医を探している。
- 訪問看護や訪問リハビリの空き情報を知りたい。
- 専門医（薬剤師や歯科医等）からのアドバイスを求めたい。
- 医療依存度の高い方の受け入れ施設を探したい。
- 医師会病院的ベッドの空き情報を知りたい。

災害時の対応として、医療的支援が必要な方等の登録を呼びかけています

札幌区医師会在札幌センター裏掛隣室・ TEL 03-5922-4711 FAX 03-5921-0480

住所 平175-0082 板橋区高島平1丁目34-4 マンション初層1階・板橋区恩恵会在宅医療センター内・

※スカラー・ニンギョーシートとは、日常生活行動の自立度をチェックし、通院支援の必要性をアセスメントするものです。

※ 病院受診の必要性和ある時は、貴客さんへご家族の御言葉をいたがせ、在店医をセンターへMSRが積極的提言します。

送	月	日	送信者	⇒	月	日	受信者(在宅医療センター)
---	---	---	-----	---	---	---	---------------

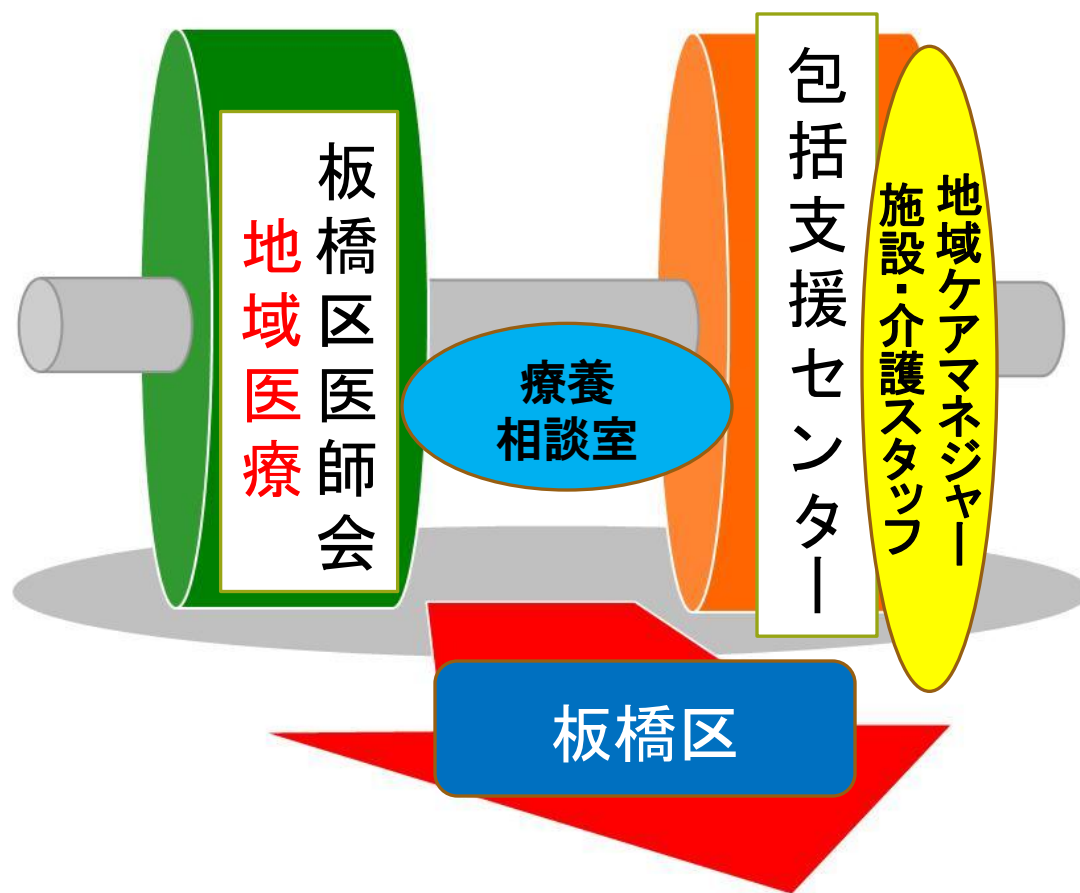
板橋区医師会病院

療養相談室相談の実績

(平成24年9月～平成25年1月)

医師会病院より	22件	・退院調整依頼 ・訪問医の紹介依頼
在宅医より	10件	・ケアマネの相談 ・吸入器導入について ・在宅医から退院支援相談(2)
地域包括支援センターより	7件	・退院支援の協力依頼 ・精神疾患の方の支援
他の病院相談室より	4件	・独居のがん末期の支援相談 ・在宅医相談 ・訪問針灸院相談 ・気管切開、レスピ装着患者の在宅医相談
ケアマネジャーより	4件	・脊髄損傷患者のサポートについて ・褥瘡が急きょ悪化し、専門医調整
訪問看護STより	3件	・在宅医紹介依頼
施設より	1件	・グループホームでの看取りについて
その他	3件	・在宅看取りの相談 ・開業についての相談
計	54件	

在宅医療連携拠点（療養相談室）



地域の 連携室・退院支援室

今後の課題

- 行政の協力
- 個人情報情報の保護と活用
- 板橋区全域の療養相談室：医師会の使命
- 中小病院との連携：病床数から回転率
- 自助・共助限界

希薄な地域のつながり

独居、老々、認知症、経済弱者世帯

区民公開講座準備



リハーサルにも熱が入ります

入院医療スタッフ

在宅療養スタッフ



打ち合わせが重ねられ

